

早良区少年愛護パトロール員だより

～安全・安心の地域をつくるために、パトロールでの優しい声かけをお願いします～

令和3年12月20日 /編集・発行 早良区総務部地域支援課振興係

去る11月16日、令和3年度第1回愛護パトロール員研修会を行いました。講師にスクールソーシャルワーカー(SSW)の蒲池恵先生をお招きし、『子どもや家庭が抱える課題について』や『地域に求められる取り組みや支援、連携について』をテーマにお話しいただきました。蒲池先生は現在、福岡市立有田小学校を拠点とし、次郎丸中学校、賀茂小学校の次郎丸中ブロック3校を担当して、子どもたちの生活を支援するスクールソーシャルワーカーとして活動していらっしゃいます。

当日の研修会の主な内容と、参加した23名の少年愛護パトロール員の方のアンケート内容(抜粋)を掲載します。



【開会行事】

地域支援課長挨拶(藤井ひろ子課長)

(抜粋)

お忙しい中、少年愛護パトロール員第1回研修会にご参加いただき誠にありがとうございます。今年度も昨年から続いているコロナの影響で生活スタイルが大きく変化し、大人だけでなく子どもたちも、多くの不安を抱える状況にあると思われます。どうか、見守り活動を通じて、気になることや気づいたことなどは、校区の青少年育成団体にも報告していただき、青少年を地域全体で見守る環境づくりに努めていただくようお願いいたします。早良区役所といたしましても、皆さまからいただいた報告書はすべて目を通し、必要に応じて迅速に対応するとともに、貴重な情報が地域全体で共有できる仕組みづくりに努めてまいります。

今後の少年愛護パトロール員の活動にあたって、事故やけがないようにご留意いただきますよう、よろしく申し上げます。

【講話】

福岡市立有田小学校 スクールソーシャルワーカー(SSW) 蒲池 恵 先生

(概要)

福岡市内には69校の市立中学校がありますが、SSWは各中学校ブロックに1名ずつ配置されて、ブロック内の小学校を含めて、児童生徒や保護者の方々の支援活動を行っています。私の所属は有田小ですが賀茂小、次郎丸中を担当しています。

SSWは多種多様な生活背景を抱える子どもたちの思いに寄り添いながら、学校や家庭、地域、関係機関等と協働しながら、その子が本来有している力が発揮できる状況や、その子らしい生活ができる状況を作るための支援を行っています。

(ここで、市教育相談課作成の動画「SSWの一日」を上映)

（動画の内容）

『SSWの朝の勤務開始から一日の活動内容を紹介。〇〇小学校の校内巡回中に授業に入らないで廊下にいる太郎(仮名)君を発見し声をかけ事情を聴く。何度か話すうちに、太郎君は、忙しく病気がちな母親の代わって幼い弟の世話をしているが、ずっとさびしい思いを抱えていることがわかってきた。そこで太郎君の状況を担任の先生や教頭先生と共有し、打開策を検討。母親にも事情を説明するとともに相談窓口を紹介する等、改善へ導いていくという内容』

このようなケースは一例ですが、様々な悩みや課題を抱えている子どもたちの情報を先生方から伺ったり、自ら発見したりすることで、子どもたちの支援活動を行っています。

本日お集まりの少年愛護パトロール員のみなさまが地域の中でできることとしては、子どもたちへの声掛けや、気になる子がいれば学校や家庭等との情報共有などが大切だと考えます。

これからも、健康に気をつけられて地域の子どもたちの健やかな成長のためにご活躍を期待いたします。

【事務局より連絡】

（非行防止対策推進員）平山修吉

1、報告書提出は月 1 枚を目標に

- ・定期的なパトロールの情報から
- ・生活の中で個人的に気になったことから

※3 枚複写中、1 枚は区役所へ提出・1 枚は校区の青少協会長・1 枚は本人保管用です

2、現時点での提出状況の説明

◎ご参加いただいた皆さんからのアンケート内容（出席者 23 名）

① 講話の感想（抜粋）

- ・スクールソーシャルワーカーは聞いたことがありましたが、実際のところどのような活動をされているのか知りませんでした。子どもたちの環境は日々変化しており、近年のコロナ禍で、不安や心配を抱えている子は多いと思われます。地域のつながりも、行事が少なくなったことで薄くなっていると感じています。すべての子どもたちとかかわることは難しいですが、地域住民の一人として子どもたちを見守っていきたいと思います。
- ・実際 SSWと関わったこともなく、今回初めて仕事内容や役割を知ることができました。子どもたちにとって、必要で重要な役割だと思うので、今後さらなる活躍、増員等をしてもらいたいと思います。
- ・今まで時々「スクールソーシャルワーカーへの相談…」(スクールカウンセラーだったかな)というプリントが子どもを通して来ましたが、あまり気にしてなかったのですが、本日、SSWの仕事内容を知ることができました。私のように知らない人もたくさんいると思ったので、もっともっと SSWを知って、必要な人たちに届けばいいなと思いました。私も映像に出てきた太郎君の様な立場になったとき、心強いなと思いました。
- ・スクールソーシャルワーカーのことを知らなかったなので、今日の研修会でどのような職業

であるか、活動内容がよくわかりました。動画の実例もわかりやすかったです。

- さみしい思いをしている子や、気にしてもらいたい子に地域で気づいてあげられるといいなと思いました。地域ごとに大人が自分の地域の子どもたちをだいたい把握することができたらいいなとも思います。日頃の安全指導の旗持ちなどで顔見知りになることから始められたらと思います。
- 講話の中の動画を見て悲しくなった。ああいった環境の中にいる子どもが実際に多くいるのだろう。子どもに負担がいかないようにするにはどうしたらいいのでしょうか。どうやったら、そういった子どもを見つけてあげられるのでしょうか。支援を受けられる子どもを増やせたらと思います。ヤングケアラー、虐待など被害にあっている子どもは自覚できないこともあると思うが、支援をしてもらえないことを知らないと思うので「お母さんが病気で大変だったら、〇〇〇 - 〇〇〇〇に電話してね」など具体的な告知ができたらいいかと思います。
- スクールソーシャルワーカーというものがわかりました。様々な家庭の問題なども含め、解決のお手伝いやサポートをしてくれる機関を紹介してくださっていることは、生徒にとっても保護者にとっても、とてもありがたく感じました。何かの生活をしていく中で自分、もしくは周囲の方で困っている方がいたときにはスクールソーシャルワーカーを頼れるよ！と伝えたいです。
- とてもSSWの仕事が、わかりやすく説明されていました。講話の中に映されたグラフや表などが印刷されていたら、家に戻ってから振り返りができたかもしれません。動画はとても分かりやすかったです。
- 子どもの抱える課題の早期発見、早期対応が大人の役割。地域でできる声掛けや見守りをしていくことが子どもの心の安定になる。子どもだけでなく、大人の見守りにもなるのではと感じました。
- スクールソーシャルワーカーが子どもと親、学校、社会をつなぐ役割をしていることを知ることができました。一人で悩んでいる子どもたちに寄り添って、先生や保護者と情報共有しそれぞれの役割を分担しながら課題解決に取り組んでいるところがすごいと思いました。子どもが育つ環境で、様々な問題があると思います。その中でSSWの方の働きがとても重要な役割をされていると感じました。

② パトロールの実施状況

- 1 少年愛護パトロール員同士で（または単独で）パトロールを行っている。 （10名）
- 2 校区の青少年育成組織で（と一緒に）パトロールを行っている。 （7名）
- 3 校区の防犯組織で（と一緒に）パトロールを行っている。 （3名）
- 4 PTAの活動の一環でパトロールを行っている。 （5名）
- 5 その他 （3名）
 - 家族と一緒にいる
 - 子どもの塾の送迎の時に行っている。
 - 21時から22時ごろ個人的に行っている。

③ 少年愛護パトロール員について、ご意見ご感想など（抜粋）

- 今回、初めてパトロール員になりましたが、コロナ禍で十分な活動ができませんでした。しかし、地域の一人として今後も協力していきたいと思います。
- 最近、気になっていることがあり、報告にもあったように外に出ている子どもが少ない。問題が家庭内に内包されていないか心配です。
- 学校や家庭以外に、子どもたちが安心できる居場所をつくることや、安心できる声掛けをしていきたいと思います。
- 地域で子どもたちを見守っている。安心して生活できる。そんな環境づくりの一員になれてよかったです。今後も継続していきたい。
- 校区のパトロールに子どもを連れていけないので連れていけたらと思います。夜間なので留守番させておくのも気がかりです。
- 校区の手伝いなどは参加していますが、実際に悩める子どもたちのために何ができているのかというところはわかりません。時折見かける気になる親子は、校区行事などには参加しません。子どもが率先して参加したいと思える校区行事が増えるといいなと思います。
- いじめは少なくなっていると言われていましたが、私はそうは思えません。いじめが少なくなっているのではなく、いじめている子が賢くてわからないだけ。見えないだけです。
- パトロールの時にはあいさつや声掛けをしています。これからはパトロールだけでなく登下校時の子どもたちにも、あいさつ等の声掛けをして「地域の人が見守っているよ」という安心感を与えてあげたいです。
- 地域でできることの中に「あいさつ」があるというお話に、私は田舎育ちなので、挨拶ができるということに対して、とても素敵なこととは思いますが子どもが最近見知らぬ男性に声をかけられていたのを友人の親御さんが見かけてくれて心配してくださりました。善人ばかりではないかも？ということを考えて子どもにどう接するのが正しいのか、どう伝えるのがよいのかも悩みました。パトロール中は腕章をつけて行い、安心してパトロールできたらとも思います。
- たとえば報告がLINEなどでできたら、もう少し報告数上がるのでは、また報告しやすいかと思いました。報告の内容も共有できるかと思います。
- パトロール員でなくても出来ることは情報共有することは大事ですね。
- 子どもたちは毎日元気よく歩いて登校している。（車での送りも若干ある）校門近くで声掛けをしていると必ず「ありがとうございます。」と返事をくれるので嬉しく思います。
- これからも子どもたちの見守り活動、頑張ります。

今年度の少年愛護パトロール員の任期もあと約3か月となりました。これからも地域の子どもの健全育成、安全安心のために、見守り活動と報告をよろしく願います。